

## 第 25 回神奈川大学宮陵会北陸ブロック会

日時：令和 6 年 9 月 28 日（土）  
午後 1 時 30 分～  
場所：ホテル金沢 2 階

### ◇スケジュール

1、北陸ブロック会議	13：30～14：00	ダイヤモンド B ルーム
2、石川県宮陵会総会	14：00～14：30	ダイヤモンド B ルーム
3、来賓挨拶	14：30～15：00	ダイヤモンド B ルーム
4、記念講演会	15：00～16：00	ダイヤモンド B ルーム
5、記念撮影	16：10～16：20	ダイヤモンド C ルーム
6、懇親会	16：30～18：30	ダイヤモンド C ルーム
※二次会	18：50～20：50	16F 「ラズベリー」

(ご参考)石川県宮陵会ホームページ、フェイスブックページで行事等ご案内しています。  
「石川県宮陵会」で検索出来ますので、ご参照下さい。

## 神奈川県宮陵会 北陸ブロック会議

- 1、開会挨拶 神奈川県石川県宮陵会 会長代行
  
- 2、来賓紹介 神奈川県・神奈川県宮陵会  
(学) 神奈川県理事長 様  
(学) 神奈川県秘書室長 様  
(一社) 神奈川県宮陵会会長 様  
(一社) 神奈川県宮陵会事務局 様
  
- 3、北陸3県参加役員紹介
  
- 4、各県活動報告（富山県・福井県・石川県）
  
- 5、神奈川県・宮陵会への質問・要望
  
- 6、北陸ブロック会議の運営について
  
- 7、その他
  
- 8、閉会挨拶 次回開催県 富山県宮陵会会長 様

以上

## 北陸ブロック会議 参加者名簿

(学) 神奈川大学理事長		様
(学) 神奈川大学秘書室長		様
(一社) 神奈川大学宮陵会会長		様
(一社) 神奈川大学宮陵会会長		様

### 神奈川大学富山県宮陵会

会長	様 (S	卒)
顧問	様 (S	卒)
幹事	様 (S	卒)
会員	様 (S	卒)
会員	様 (S	卒)

### 神奈川大学福井県宮陵会

会長	様 (S	卒)
副会長兼事務局長	様 (S	卒)
幹事	様 (S	卒)
事務局次長	様 (S	卒)
事務局次長	様 (S	卒)

### 神奈川大学石川県宮陵会

会長代行	(S	卒)
副会長	(S	卒)
事務局長代行	(H	卒)
常任幹事	(S	卒)
監事	(S	卒)

以上

## 石川県宮陵会定期総会

### 会次第

- 1、開会宣言      司会者
- 2、会長挨拶      石川県宮陵会会長代行
- 3、議長選出
- 4、議事進行
  - 議案①      活動報告
  - 議案②      会計報告、会計監査報告
  - 議案③      規約改正（案）
  - 議案④      役員改選（案）
  - その他
- 5、議長退席
- 6、閉会宣言      司会者

※ 総会資料は別紙となっています。

以上

来賓挨拶

(学) 神奈川大学理事長 様

(一社) 神奈川大学宮陵会会長 様

以上

## 記念講演会

演題：「被災古文書にみる奥能登の歴史」

講師：神奈川県 国際日本学部 歴史民俗学科 教授  
関口 博巨氏

(講師・略歴)

1960年 埼玉県のお生まれ。

1988年3月 神奈川県立大学大学院経済学研究科修士課程修了

現在 神奈川県立大学常民文化研究所所長 博士（歴史民俗資料学）

専門は日本近世史

著書に『近世村落の領域と身分』（吉川弘文館）

『古文書を学ぶー市川海老蔵の証文から』（お茶の水書房）

編書に『古文書修復講座』（勉誠社）など

以上

## 北陸ブロック会 懇親会

1、開会挨拶 石川県宮陵会会長

2、来賓紹介 (学) 神奈川大学理事長 様  
(学) 神奈川大学秘書室長 様  
(一社) 神奈川大学宮陵会会長 様  
(一社) 神奈川大学宮陵会会長 様

神奈川大学 国際日本学部 歴史民俗学科 教授 様  
神奈川大学法律学科 1年 様

3、乾杯 石川県宮陵会相談役

(歓談タイム①)

4、アトラクション 第三応援歌歌唱 石川県宮陵会事務局長

(歓談タイム②)

5、富山県宮陵会参加者紹介

6、福井県宮陵会参加者紹介

(歓談タイム③)

7、校歌・応援歌・寮歌斉唱

8、閉会挨拶（中締め） 石川県宮陵会常任幹事

以上

令和6年神奈川県宮陵会北陸ブロック会 参加者名簿

役職名	氏名	卒業年次	総会	備考
(学) 神奈川大学理事長				
(学) 神奈川大学秘書室長				
(一社) 神奈川大学宮陵会会長				
(一社) 神奈川大学宮陵会事務局				
神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科教授				
富山県宮陵会会長				
富山県宮陵会顧問				
富山県宮陵会幹事				
富山県宮陵会				
富山県宮陵会				
福井県宮陵会会長				
福井県宮陵会副会長兼事務局長				
福井県宮陵会事務局次長				
福井県宮陵会事務局次長				
福井県宮陵会幹事				
石川県宮陵会相談役			○	
石川県宮陵会相談役			○	
石川県宮陵会相談役			○	
石川県宮陵会			○	
石川県宮陵会常任幹事			○	
石川県宮陵会常任幹事				
石川県宮陵会常任幹事			○	
石川県宮陵会常任幹事			○	
石川県宮陵会相談役			○	
石川県宮陵会			○	
石川県宮陵会常任幹事			○	
石川県宮陵会副会長			○	
石川県宮陵会			○	
石川県宮陵会副会長			○	
石川県宮陵会常任幹事			○	
石川県宮陵会常任幹事			○	
石川県宮陵会				
石川県宮陵会監事			○	
石川県宮陵会			欠	
石川県宮陵会幹事			○	
石川県宮陵会				
石川県宮陵会			○	
準会員				

※石川県の役職は総会前時点

計37名

# 北陸ブロック会懇親会席次

ステージ

①



富山県宮陵会 (顧問)様 (幹事)様 様 様
石川県宮陵会 (前会長代行)
準会員 様
宮陵会 (事務局)様

①



大学 (理事長)様 (秘書室長)様 (教授)様
宮陵会 (会長)様
(富山会長)様 (福井会長)様 (石川会長)

①



福井県宮陵会 (副会長兼事務局長)様 (幹事)様 (事務局次長)様 (事務局次長)様
石川県宮陵会 (元会長) (副会長) (事務局長)

①



石川県宮陵会 (元会長)

①



石川県宮陵会

神奈川県立神奈川大学 since S.24(横浜専門学校 since S.4)

【校歌】 S.26発表

作詞:神保光太郎 作曲:高田三郎 編曲:真島俊夫

一、岩を打ち とどろに返す 真白なる 波のゆくえよ  
明けそめし 日本の未来 湧き起こる あかつきの歌  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 光はここに われらわれら 神奈川大学

合:合唱団節回し、一:一般的節回し

合「わき〜いおこる」、一「わ〜きおこる」

二、空あおく 涯(は)てなくあおく 船は航(ゆ)く 遠きわたつみ  
ひとすじの 審理の潮路 相寄りて 今日も究めん  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 光はここに われらわれら 神奈川大学

合「あい〜いよりて」、一「あ〜いよりて」

三、丘に立ち 祖国を想う 混沌の 雲のゆきかい  
日に烈(はげ)し ほのおの決意 新しき 歴史の朝よ  
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ 光はここに われらわれら 神奈川大学

【第一応援歌「久遠の覇者」】 S.22頃、学生公募。校歌制定前は代わりに歌唱。

作詞:松村祐一 作曲:川上博正

一、燃え上がりては天を突き 天を突きては突き破る  
理知\*と力の燃えさしに 果てるを知らでいや高く  
若き吾等の血のしぶき 見よや神大吾等が母校

合「た〜かく」、一「たかく〜」

\*「意気」と歌う事も有り

合「われらの〜」、一「われら〜の〜」

合「ゆうひ〜ははえて〜」、一「ゆうひは〜はえて〜」

二、しぼりきれたる肉体が あわれ大地に沈むとき  
夕日は映えて西の空 薫風(くんぷう)土にかぐわしく  
微笑(えみ)\*と涙の光あり 見よや神大吾等が母校

合「か〜ぐわ〜しく」、一「か〜ぐわしく〜」

\*「汗」と歌う事も有り

合「なみだの〜」、一「なみだ〜の〜」

【第二応援歌「力と技術(わざ)を」】

作詞:河原正信 作曲:陸軍戸山学校軍楽隊

一、雄々しき力 あふれる吾等 青春の血 おどれる吾等  
破らんか 敵陣を ひたすらに 蹴り返す 新興の覇気 高らかに  
見よ吾等が おお吾等が 神大健児の 力と技術(わざ)を

二、太平洋の 波打つ所 富士嶺仰ぐ 宮面ヶ丘に  
倒さんか 敵陣を 幾年(いくとし)か きたえきし 吾等が行手に 敵はなし  
見よ吾等が おお吾等が 神大健児の 腕(かいな)と脚を

三、晴れの舞台に 臨める友よ 母校の名譽に 戦う健児  
崩さんか 堅塁を さん然と 栄冠は 吾等が行手に 輝かん  
見よ吾等が おお吾等が 神大健児の 精神(こころ)と意気を

【第三応援歌「勝利に進め」】 神奈川大学創立60周年記念曲S.62発表

作詞(学生公募):丹羽高志 作曲:真島俊夫

一、太平洋の海原に 白き波頭(はとう)の砕け散る  
若き血潮は潮騒の 世界の海に乗り出さん  
伝統の下精鋭あり 我らが神大勝利に進め

二、宮面の丘に仰ぎ見る 秀峰富士の霧は晴れ  
決意は新た新緑の 大地の果てに進みなん  
伝統の下精鋭あり 我らが神大勝利に進め

三、遮る雲のひとつなく 理想は高く輝ける  
旺盛の意気天を衝(つ)き 大空はるか羽ばたかん  
伝統の下精鋭あり 我らが神大勝利に進め

【逍遙歌「宮面ヶ丘寮歌」】 六角橋宮面寮(S.56(1981)廃止)寮生が終戦後、歌った曲が寮歌となった。

作詞・作曲:中濱基夫

一、宮面ヶ丘に花咲きて 色は匂えど散りにけり  
千草にすだく虫の音(ね)に 昔の面影今いずこ

二、先哲真理を求めれど 求めてならぬ恋の道  
捨てて咲くべき花なれば 手(た)折りに胸に抱きしめん

三、故郷の母よ我が父よ 離れて咲く身の浮き草も  
国を背負いて立つ日まで 苦難の淵に沈みなん

四、春爛熟の花びらは 散るに一え(ひとえ)の歌枕  
荒(すさ)ぶ嵐をよそに見て 集え若人我が健児 集え若人我が健児